

1. 地域包括支援センターの方針

担当圏域である北部地域は、県営住宅や押草団地など高齢化率が高い地域があります。身寄りのない一人暮らし高齢者や地域とつながりない高齢者夫婦など支援が困難な状態になってから、総合相談に結びつくケースの件数が年々増えています。「複合化・複雑化」した相談ケースに対応するために、圏域内の各地域の課題の収集を積極的に進め、多様な機関や多職種との連携を深めます。また幅広く相談に対応できるように外部研修に積極的な参加をすることで、センター職員の資質向上に取り組みます。圏域内の気になる高齢者への定期的な訪問活動や住民活動に参加し、顔の見える関係作りを展開し、総合相談窓口として住民に身近なセンターを目指します。

2. 事業別の実施内容

※目標値は、数値目標のみ記載し、空欄については随時行うものとする。

事業、業務名	内容(何を、どのように)	目標値	実績値
<b>(1) 総合相談支援事業</b>			
① 実態把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お元気訪問を通じ、地区の気になる高齢者の状況を把握し、緊急性のあるケースには速やかに対応する。</li> <li>・民生委員や関係機関等と協力して、戸別訪問等を実施し、支援が必要な高齢者の現状について状況把握を行う。</li> <li>・いきいき出前講座や地域の通いの場への訪問を通じて、地域の課題やニーズの把握を行う。</li> <li>・気になる高齢者をリスト化し、定期的にお元気訪問を実施し、実態把握に務める。(重点地区:押草団地)</li> </ul>	随時	随時訪問等対応
② 総合相談支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワンストップの相談窓口として、高齢者や家族の多様な問題に対し、チームアプローチで対応する。</li> <li>・毎日、朝礼で情報共有を行い、三職種で確認して記録を作成することで、多様な相談内容に対応する。</li> <li>・圏域内の各機関に包括紹介カードを設置し、包括の周知と共に情報提供及び相談に対応する。</li> <li>・コミュニティセンター(和合・御岳)へ出向き、地域の状況を把握し介護保険相談日を設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・随時</li> <li>・毎日</li> <li>・11か所</li> <li>・4回/年</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・随時対応</li> <li>・毎朝実施</li> <li>・11か所実施</li> <li>・各3回ずつ実施</li> </ul>
③ 地域におけるネットワークの構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「社協だより」内に地域包括支援センター(以下「包括」という。)PR記事の掲載やホームページに掲載することで、活動の周知を図る。</li> <li>・まちかど運動教室やコミュニティセンターへ出向き、地域の状況を把握し介護保険相談日を設ける。</li> <li>・民生委員定例会や各種会議の参加を通じて情報交換・ネットワークの構築を図る。</li> <li>・包括窓口に随時最新の介護情報や地域資源の情報などをわかりやすく掲示することで地域のネットワーク化の推進を図る。</li> <li>・戸別訪問や相談支援において把握された情報をもとに、地域の関係者と積極的に情報交換する機会をつくり、支援が必要な高齢者を早期に発見する。(実施地区:諸輪住宅・押草団地)</li> <li>・個別地域ケア会議を通じて、顔の見える関係を作り、地域の関係者と連携強化を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1回/年</li> <li>・4回/年</li> <li>・毎月</li> <li>・随時</li> <li>・年4回</li> <li>・年3回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1回/年実施</li> <li>・6回/年実施</li> <li>・毎月出席</li> <li>・随時設置</li> <li>・年4回実施</li> <li>・年1回実施</li> </ul>
④ 家族介護者への相談支援体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険サービスだけでなく、家族介護者向けの地域資源等に関する情報収集を行う。</li> <li>・包括窓口に幅広い介護に関する事業等のパンフレットを配置し、情報提供を行う。</li> <li>・認知症カフェや男性介護者のつどいなどに参加し、介護者の相談に対応し必要時に他機関につなぐ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・随時</li> <li>・随時</li> <li>・随時</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・随時実施</li> <li>・随時実施</li> <li>・随時参加</li> </ul>
<p><b>【具体的な取組内容や実績値について】</b>                      計画的に職員で地域の通いの場やサロンなどに出向くようにして、参加者や運営者と情報交換をするようにした。社会福祉協議会と連携して介護保険相談日を設けて実施した。</p> <p><b>【(目標値が未達成の場合)理由や今後の取組等】</b>                      個別地域ケア会議の実施が目標3回→実績1回と及ばなかった。本人の困り感を皆で対処を考えようとする仕組みの中で、本人に困り感が無かったり皆で考えようとする段階で気が引けてしまう状況があった。今後も地道に声掛けをして信頼関係を作っていくよう取り組む。</p>			

事業、業務名	内容(何を、どのように)	目標値	実績値
<b>(2) 権利擁護事業</b>			
① 成年後見制度の活用促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・尾張東部権利擁護支援センターや町担当課と連携し、成年後見制度の周知と活動支援を行う。</li> <li>・成年後見制度や日常生活自立支援事業に関するパンフレットやチラシを資料コーナーに設置し、制度の周知を図る。</li> <li>・「いきいき出前講座」において、地域住民に向けて成年後見制度に関する周知を図る。</li> <li>・必要時に成年後見制度が提案できるように、介護支援専門員連絡会で制度の周知を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・随時</li> <li>・随時</li> <li>・随時</li> <li>・1回/年</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・随時対応</li> <li>・随時設置</li> <li>・3回実施</li> <li>・1回実施</li> </ul>
② 高齢者虐待の防止及び対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待が疑われるケースについて、東郷町の「高齢者虐待対応マニュアル」に基づき、速やかにケースの状況を把握し、町担当課と連携を図りながら支援を行う。</li> <li>・高齢者虐待防止に関するパンフレットを包括窓口に設置したり、「いきいき出前講座」において、地域住民に向けて高齢者虐待防止の啓発(早期発見・早期対応のための啓発)を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・随時</li> <li>・随時</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・随時対応</li> <li>・随時設置及び実施</li> </ul>
③ 困難事例への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・困難事例を把握した場合は、包括内の三職種で連携して関係機関とのネットワークを活用した支援を行う。</li> <li>・困難事例に対して個別ケア会議を開催し、医療や介護関係機関だけでなく、地域や障がいなど幅広く様々な機関と協働し問題解決を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・随時</li> <li>・随時</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4件受付</li> <li>・10回実施</li> </ul>
④ 消費者被害の防止への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者被害に関する相談や発見があった際は、町担当課や消費生活相談センター、警察署と連携して支援を行う。</li> <li>・介護支援専門員や民生委員等の関係機関と連携して、迅速に消費者被害等の情報を把握・提供できるようにする。</li> <li>・包括資料コーナーに消費者被害等防止するパンフレットを配置するとともに、「いきいき出前講座」や地域の集いの場において、消費者被害防止の周知を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・随時</li> <li>・随時</li> <li>・随時</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1回対応</li> <li>・随時対応</li> <li>・随時配置 出前講座 1回実施</li> </ul>
<p><b>【具体的な取組内容や実績値について】</b>                      虐待疑いの連絡が入った際は、行政と速やかに連携をとり対応検討をしている。成年後見制度の周知については配置だけでなく、事例によっては後見センターの紹介などを行った。いきいき出前講座でも出席者に紹介をした。                      消費者被害の相談については、連絡を受けて訪問状況を伺った。相場金額と領収証の見方が分からなかったための相談だった。</p> <p><b>【(目標値が未達成の場合)理由や今後の取組等】</b></p>			

事業、業務名	内容(何を、どのように)	目標値	実績値
<b>(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業</b>			
①包括的・継続的なケア体制の構築	・介護支援専門員研修会及び現任介護職員研修会を開催し、地域の介護支援専門員や介護職員等の資質向上を図る。 ・東郷町介護支援専門員連絡会が開催する研修会や会議などに参画することで、職能団体への後方支援を行う。 ・豊明東郷医療介護サポートセンターかけはしと共催で研修会を開催し、地域の介護支援専門員等の専門職の資質向上を図る。	・年5回 ・随時 ・年2回	・3回+1回実施 ・随時参加 ・年2回実施
②地域における介護支援専門員のネットワークの構築と活用	・定期的に介護支援専門員連絡会を共催し、介護支援専門員のネットワークを構築する。 ・豊明東郷医療介護サポートセンターや地域支え合いコーディネーターなどの関係機関と協力し、地域における介護保険外のサービス等の情報提供を行う。	・年3回 ・随時	・4回実施 ・随時実施
③日常的個別指導・相談及び支援困難事例等への指導・助言	・多職種カンファレンス等を通して、介護支援専門員が自立支援型ケアマネジメントが行えるように支援する。 ・支援困難ケースなどの相談に対して介護支援専門員が相談しやすい雰囲気づくりに努めるとともに、同行訪問、情報提供等行うなど、後方支援を図っていく。	・年6回 ・随時	・年6回実施 ・随時実施
<b>【具体的な取組内容や実績値について】</b> 介護支援専門員連絡会で決めたとおり、令和5年度は連絡会と研修会の実施日を分離した。また、連絡会の今後の運営検討のため実施が計画よりも1回増えた。			
<b>【(目標値が未達成の場合)理由や今後の取組等】</b> 現任介護職員研修は予定通り実施できたが、現任介護職員研修の2回目は降雪の為に中止とした。			

事業、業務名	内容(何を、どのように)	目標値	実績値
<b>(4) 第1号介護予防支援事業</b>	・基本チェックリストを活用してアセスメントを実施する。 ・事業対象者・要支援者の自立支援・重度化防止の視点に立ち、インフォーマルサービスを活用した介護予防サービス・ケアマネジメント計画を作成する。 ・委託先の介護予防サービス・ケアマネジメント計画書等資料の内容を確認し、適宜見直しを図る。	・随時 ・随時 ・全件確認	・随時実施 ・随時実施 ・全件確認
<b>【具体的な取組内容や実績値について】</b> 基本チェックリストは契約時、計画策定時などに随時実施しアセスメントを実施している。また委託しているケースについては全件包括内で担当者を決め適切なケアマネジメントが実施されているか全件確認している。			
<b>【(目標値が未達成の場合)理由や今後の取組等】</b>			

事業、業務名	内容(何を、どのように)	目標値	実績値
<b>(5) 在宅医療・介護連携推進事業</b>	・多職種カンファレンスと多職種ミーティングを開催し、地域における多職種連携を深めるとともに、地域の課題を抽出する。 ・豊明東郷医療介護サポートセンターかけはしや東名古屋医師会在宅医療・介護連携支援センターやまびこの運営会議等に委員として参加し、医療・介護連携を推進する。 ・電子@連絡帳を積極的に活用するとともに、関係機関に登録を働きかけ、多職種の連携を図る。 ・新規の介護保険事業者に電子連絡帳の登録を促し、必要時にマニュアルを配布または勉強会を開く。	・年11回 ・年4回 ・随時 ・随時	・年11回実施 ・2回+2回参加 ・随時活用 ・随時
<b>【具体的な取組内容や実績値について】</b> 多職種カンファレンス及び多職種ミーティングを計11回開催した。多職種カンファレンスに於いては会の前半を事例検討とし、後半を地域課題を考える内容に変更した。			
<b>【(目標値が未達成の場合)理由や今後の取組等】</b>			

事業、業務名	内容(何を、どのように)	目標値	実績値
<b>(6) 生活支援体制整備事業</b>	・生活支援体制整備事業に関する研修会に参加し、知見を深める。 ・コアメンバー会議を通じて、協議体の運営に参加する。 ・総合相談支援事業を通じて把握した高齢者の生活実態の情報を、地域支え合いコーディネーターや協議体に情報提供していく。 ・必要時、地域ケア個別会議への出席を依頼し、地域支えあいコーディネーターとの連携強化を図る。	・協議体への毎回参加 ・コアメンバー会議への毎回参加	・協議体への11回参加 ・コアメンバー会議に12回参加
<b>【具体的な取組内容や実績値について】</b> みよし市の生活支援体制整備事業を視察して情報交換を行った。生活支援体制整備事業における協議体に4回、コアメンバー会議に14回参加した。			
<b>【(目標値が未達成の場合)理由や今後の取組等】</b>			

事業、業務名	内容(何を、どのように)	目標値	実績値
<b>(7) 認知症総合支援事業</b>			
①適切なサービスを提供するための関係機関との連携(運営方針(1)、(2)、(4)、(5))	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症の当事者や対応等に困っている家族の早期発見・支援のため認知症地域支援推進員を配置し、専門的な相談支援体制を作る。</li> <li>認知症の人に対し適切な支援が提供されるよう、各関係機関との連携を図る。</li> <li>認知症初期集中支援チームのチーム員を配置し、南部包括支援センターと情報共有を行うとともに連携して活動する。</li> <li>地域で認知症の方の適切な支援につながるよう、コンビニやスーパー、郵便局などの生活に密着した関係機関と連携を図るため、顔の見える関係作りをおこなう。</li> <li>南北包括の認知症地域推進員同士で連絡をとりあい、活動の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>推進員の配置</li> <li>随時</li> <li>チーム員の配置</li> <li>1回/月</li> <li>随時</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>配置の実施</li> <li>随時実施</li> <li>チーム員配置実施</li> <li>年数回程度実施</li> <li>随時実施</li> </ul>
②認知症の人の介護者への支援(運営方針(5)、(8))	<ul style="list-style-type: none"> <li>家族介護者が参加する場を利用し、認知症の人を介護している家族等の相談支援を行う。</li> <li>認知症地域支援推進員のみならず、包括職員も認知症ケアパスを積極的に活用し、認知症の症状の予測、状態に応じた適切な対応とサービスについて本人や家族に説明を行う。</li> <li>介護支援専門員がケアパスを活用できるように、介護支援専門員連絡会でケアパスの周知を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年6回</li> <li>随時</li> <li>1回/年</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年12回実施</li> <li>随時実施</li> <li>1回/年実施</li> </ul>
③認知症の理解を深めるための普及・啓発(運営方針(1)、(3)、(6)、(7))	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症の理解を深めるため、認知症キャラバンメイトとして認知症サポーター養成講座(地域・職域)の開催やステップアップ講座の開催等に運営協力を行う。</li> <li>認知症に関する相談窓口としての周知を図るため、資料コーナーにおいて認知症に関する専門コーナーを設置する。</li> <li>認知症支援施策検討会に参加し、認知症に関する知識の普及・啓発、認知症支援の取組内容の検討と事業に取り組む。</li> <li>アルツハイマー月間イベントの企画に当事者の意見を取りあげ、高齢者支援課と協働し本人発信を促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>随時</li> <li>随時</li> <li>検討会6回/年</li> <li>1回/年</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>13回実施</li> <li>随時実施</li> <li>12回/年参加</li> <li>1回/年実施</li> </ul>
<p><b>【具体的な取組内容や実績値について】</b>            男性介護者の集いなどに顔を出す事で家族等の相談支援を行った。            認知症サポーター養成講座を運動教室の枠などを活用しながら、R4年度実施分と合わせて北部地域全8地区を実施した。また、職域での養成講座も複数回実施した。</p> <p><b>【(目標値が未達成の場合)理由や今後の取組等】</b>            ①・4つ目)顔の見える関係作りにおいて、北部地域の郵便局と薬局に年2回、コンビニは年1回と、個別の数件の認知症ケースについて近所のコンビニ、喫茶店等へ声掛けをした。業務上月1回の定期的な巡回は実施困難であった。</p>			

事業、業務名	内容(何を、どのように)	目標値	実績値
<b>(8) 一般介護予防事業</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民に対して介護予防の周知を図るとともに、主体的に介護予防活動に取り組めるよう知識の普及及び啓発を行うため、「いきいき出前講座」を開催する。</li> <li>住民に出前講座を活用してもらうためサロン等に周知に出向く。</li> <li>お元気訪問後、継続訪問や連絡が必要な人をリスト化し包括内で周知、計画的に訪問等を通じて実態把握を行う。</li> <li>訪問活動を実施するセンター職員はフレイルを学び、出向いたサロンや訪問先でフレイル予防の周知を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>随時</li> <li>随時</li> <li>随時</li> <li>随時</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>27回/年実施</li> <li>随時実施</li> <li>随時実施</li> <li>随時実施</li> </ul>
<p><b>【具体的な取組内容や実績値について】</b>            各地区で老人クラブやサロン等からの要請を受け、出前講座を実施した。令和5年度は令和4年度に実績の無かった御岳で2回実施することができた。戸別訪問は対象者をリスト化して秋に集中して67件(内押草25件)の実態把握をおこなった。</p> <p><b>【(目標値が未達成の場合)理由や今後の取組等】</b></p>			

事業、業務名	内容(何を、どのように)	目標値	実績値
<b>(9) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域密着型サービス運営推進会議に参加し、地域課題の共有や情報提供を行う。</li> <li>薬局、郵便局に設置している包括紹介カードの補充やポスター掲示を通じて、積極的に地域の情報収集や関係機関との顔の見える関係づくりを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>20回/年</li> <li>11ヶ所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>18回参加</li> <li>11ヶ所実施</li> </ul>
<p><b>【具体的な取組内容や実績値について】</b>            参加にはコロナ対策の書面会議を含む。包括紹介カードは11ヶ所設置(和合郵便局・白鳥郵便局・キョーワ薬局東郷店/諸輪店/和合ヶ丘店・貴船薬局・三聖堂・ドラッグユタカ・アリエス調剤薬局・リリーフ調剤薬局・愛知警察署)しており、年2回ほど補充し各店舗スタッフと認知症や気になる住民がいないか情報交換をしている。</p> <p><b>【(目標値が未達成の場合)理由や今後の取組等】</b>            デイおさんぽがコロナ対策で4月分は中止。おおきなくすの木が12月で事業廃止となった。</p>			

事業、業務名	内容(何を、どのように)	目標値	実績値
<b>(10) 地域ケア会議</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域包括ケアを推進するため、地域ケア会議においては多職種の参加を促し、個別課題以外に地域課題も把握する。</li> <li>センター内で地域ケア会議マニュアルの勉強会をする。</li> <li>必要時に個別地域ケア会議を開催する。</li> <li>東郷町介護支援専門員連絡会で地域ケア会議について情報提供し、必要時に開催するよう提案する。</li> <li>個別地域ケア会議で明らかとなった地域課題や資源開発について、地域ケア推進会議で提案を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年6回</li> <li>随時</li> <li>年3回</li> <li>年1回</li> <li>年2回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年6回実施</li> <li>1回実施</li> <li>1回実施</li> <li>1回実施</li> <li>会議5回参加提案1回</li> </ul>
<p><b>【具体的な取組内容や実績値について】</b>            地域ケア会議では多職種カンファレンスとして個別課題と地域課題の把握を行った。</p> <p><b>【(目標値が未達成の場合)理由や今後の取組等】</b>            個別地域ケア会議の実施が目標3回→実績1回と及ばなかった。本人の困り感を皆で対処を考えようとする仕組みの中で、本人に困り感が無かったり皆で考えようとする段階で気が引けてしまう状況があった。今後も地道に声掛けをして信頼関係を作っていくよう取り組む。</p>			

事業、業務名	内容(何を、どのように)	目標値	実績値
<b>(11) 指定介護予防支援業務</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>要支援者の自立支援・重度化防止の視点に立ち、インフォーマルサービスを活用した介護予防サービス・ケアマネジメント計画の作成をする。</li> <li>委託先の介護予防サービス・ケアマネジメント計画書等の内容を把握し、適宜助言する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>随時</li> <li>全件確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>予防給付委託666件、包括1105件</li> </ul>

**【具体的な取組内容や実績値について】**

予防給付:委託666件、包括1105件 ※令和4年度予防給付:委託601件、包括876件

**【(目標値が未達成の場合)理由や今後の取組等】**

**3. 重点取組事項(自由記載)**

- ◎地域の閉じこもり傾向にある高齢者の実態把握を行い、適切な支援につなぐため戸別訪問を実施する。
- ◎地域へ積極的に向き、地域包括支援センターの活動周知を行うとともに、地域住民のみならず多様な機関や多職種との連携を深める。
- ◎個別地域ケア会議において多職種等と協働して、圏域内の個別課題だけでなく地域課題を積極的に拾い上げる。
- ◎東郷町介護支援専門員連絡会が開催する研修会や会議などに参画することで、職能団体への後方支援を行い介護支援専門員の質の向上を図る。

**【具体的な取組内容や課題など】(2. で記載したもの以外)**

住民や民生委員などから気になる高齢者の情報があった場合、速やかに家庭訪問をおこない連絡を取るよう努めた。  
運動教室などに向いた際は、積極的に住民に声をかけて包括周知を図った。

※ その他の実績値については、「令和5年度 東郷町地域包括支援センター事業報告(実績値)」のとおり。